



「紅葉の涸沢」 畑 誠一 (川崎ハイキングクラブ)

「事故一報」の送付先をお知らせします。

* 「事故一報」の全国・県連へ迅速な連絡*

全国窓口：[労山新特別基金制度運営委員会メール kikin@jwaf.jp](mailto:kikin@jwaf.jp)/FAX03-3235-4324

県連窓口：遭難対策部メール jiko1hou@k-rouzan.net

神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 1-18-2 永田ビル 3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 入木田実文

振り込み先 ゆうちょ銀行 記号 10280 番号 61104271

名前 カナガワケンキンロウシャサンガクレンメイ

他金融機関からは 028 普通預金 口座番号 61104271



新聞記事	2
会・クラブ紹介「雪童山の会」	3
事務局長会議	4
50周年記念事業実行委員会報告	5
定期理事会議事録	6
自然保護委員会	7
神奈川勤労者山岳連盟50周年記念講演(報告)	8
アルパインリーダー実技山行・三つ峠(報告)	9
2017年度セルレスキュー講習会ご案内	10
2017 全国ハイキング学校	11
全国ハイキング学校に参加して	12
新スポーツ神奈川県連盟第49期第3回常任理事会報告	13
常任理事会議事録	14
各会の活動報告	15
公開読図講座のご案内(相模アルパイン)	17
県連のスケジュール	18

リニア工事進む大井川源流域

静岡市葵区

南アルプスをトンネルで貫くリニア新幹線の静岡県側工事予定地を、日本勤労者山岳連盟(労山)が現地調査しました。その様子を浦添嘉徳理事長にリポートしてもらいました。

日本勤労者山岳連盟理事長

浦添嘉徳さんがリポート

17-9-5



労山は南アルプスの大自然を後世に残していくため、リニア問題検討委員会を立ち上げました。その活動の一環として、8月31日と9月1日の両日、委員長の前と竹本幸造事務局長(労山理事・静岡労山会長)、久保典子委員(労山理事)が、リニア工事予定地である静岡市葵区の大井川源流域を調査しました。

登山者のオアシス

この区域は、工事予定地の中でも最も山の奥深い場所です。標高約1550m地点で、難工事が想定されます。また、南アルプス南部の登山基地である樺島(さわらじま、1223m)や二軒小屋(1400m)があります。一般車の乗り入れが制限され、自然豊かで、登山者にとってはオアシスともいえる静かな場所です。登山者への影響も大きいところです。現地では、トンネル掘削で発生する残土置き場や、作業員の宿舎予定地を確認し、現状を調査しました。

工事のための作業場や残土置き場となる、樺島、二軒小屋間の燕沢付近は、すでに樹木が伐採され、整地作業は着々と進められています。

「ストップ・リニア」訴訟原告団の一員でもある竹本さんは、「1年前にきたときより、大幅に開発が進んでいる」と感想を述べていました。

二軒小屋の上流で大井川は東俣と西俣に分かれます。西俣の標高約1550m地点に、トンネルの非常口になる作業用の坑口が掘られます。林道を歩いていくと二軒小屋水力発電所の先に、大型タンクが通行できる仮設の橋ができていました。

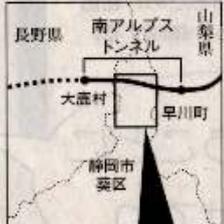
竹本さんは「発電所から先に道路はなかったのに、いつの間にかリニア工事が始まっていた。多くの登山者にとって、ここを早く伝えなければ」と話していました。

二軒小屋から1時間半ほど歩いたところに、宿舎建設のための敷地が整地されています。その手前には鉄筋コンクリートの頑丈な橋があり、一東海旅客鉄道(株) 中央新幹線推進本部 中央新幹線

17-9-5

宿舎建設のため橋を架け敷地整備

1500メートルの山中で土砂運搬




建設部長と配されています。すでに大井川源流域でも、リニア新幹線建設が始まっていたのです。

土ぼこりと排ガス

宿舎建設予定地を確認して帰る途中、午前8時には大型重機の作業や大型タンクによる土砂の運搬作業が始まっています。静かな山中は工事現場となり、作業員が生活する街も出現し、もはや「山」ではなく「山」です。

久保さんは「異様な臭いに吐き気がする」と口をふさぎ、「登山者にとって容認できないくらい必要がある、強くて」と怒りをあらわにしています。

多くの登山者に、リニアによる自然破壊の事実を知らせていく必要があると、強く感じました。

建設部長と配されています。すでに大井川源流域でも、リニア新幹線建設が始まっていたのです。

大井川源流域では大自然を破壊する作業がすでに始まっています。しかし、リニア建設が本格的に始まれば、ピーク時には二軒小屋付近で毎日約480台、樺島付近で約330台の工事車両が行きかかっています。静かな山中は工事現場となり、作業員が生活する街も出現し、もはや「山」ではなく「山」です。



道路建設が進められていた西俣非常口付近一日(労山提供)

雪童山の会

「雪童山の会」は雪山を中心に活動する山岳会として2000年に創設されました。

私たちは「自由と平等」「自己責任」を基本として活動しており、最大限各個人の意思を尊重するべく、少人数グループ、個人山行が主体となっています。

山行形態は季節を問わず、縦走やピークハントから、フリークライミングからアルパイン、沢登り、アイスクライミング、山スキーとオールラウンドに活動しています。

会員構成は男女併せて現在9名です。主に神奈川県内に在住のメンバーで構成されています。男性は7名、女性は2名という構成で30代2名、40代5名 50代2名です。

自分は初心者だから・・・という方も歓迎します。年齢や経験は問いません。登山に取り組む意欲のある方であれば、是非ご連絡を。

(ホームページアドレス：<http://yukiwarabe.main.jp/wp/>)



2017年1月槍ヶ岳山行

2017年9月12日事務局長会議

司会：若澤

参加会：川崎労山（益田）、川崎HC（原）、柴笛クラブ（井上）、横浜HC（宮原）、藤沢山の会（山本）、小田原ナーゲル（遠藤）、相模AC（渡辺）、みずなら（阪上）、やま++（栗田）、M&C（杉山）、G r a z i e（伊藤章）

◆参加会には上期交通費をお支払いしました。（カモの会、山ブキの会は未済）

【1】県連からの連絡事項

○理事会

- * 9 / 10 理事会がありました。半期の報告及び予定について討議し、承認を得ました。
- * 敬弔の内部規定については、香典、供花の範囲をどの程度にするか（病気、山行中かなど）再度常任理事会で協議する事になった。⇒ぜひ規定を作って欲しいとの意見がありました。また「～山行中の事故または病気により：山行中に限ったほうが分かりやすい」との意見が多数でした。金額についても決めておいた方が分かりやすい。県連への功労者等については別途常任理事会で都度検討すれば良い。
- * 遭難対策部活動の停滞…各会の事故防止委員会か遭難対策担当者を召集し共通の課題を話し合う場を設定する。
- * 50周年記念講演会開催…新スポ理事長の挨拶をいただく。全国浦添理事長も参加していただいた。終了後懇親会開催。⇒講演会で安村氏から提供された資料及び s h o t z を配布しました。ぜひ会に持ち帰ってご検討下さい。むずかしい話をわかりやすく 労山とは（浦添理事長）、山では炭水化物が必要、山に行かない日はダイエット（安村さん）
- * クリーンハイクの水質検査結果、後沢乗越水場 NGについて…個人差があるので、飲むかどうかは自己責任で。
- * 救助隊…沢の徒渉講習会 好評。来年もやって欲しい。

- 連盟ニュース*各会の紹介載せています。今月は「カモの会」です。
- *カレンダー申し込み…神奈川県連の名前が入ります。1部1000円、申し込みは jim001rouzan.kanagawa@k-rouzan.net へ
- *関東ブロック雪崩講習会…P9 1 / 20 - 21
- 2017年第4回「福島子ども達と夏休み」保養プロジェクト
- *来期については見直し…関東ブロック役員交流会の議論から（連盟ニュースP9埼玉）
- ハイキング委員会
 - 9 / 16 - 18 全国ハイキング学校/湯沢…神奈川県から横浜HC 3名、みずなら山の会 1名参加。
- 予定
 - 「関東ブロック自然保護交流会」
 - 10月14日（土）～15日（日）奥多摩にて
 - 「全国自然保護担当者会議」
 - 10月28日（土）～29日（日）日光温泉
 - 「第8回女性と登山全国集会」
 - 12月2日（土）～3日（日）埼玉県嵐山市国立女性教育会館
- 山指協主催（県労山後援）第3回安全登山講座
 - 10 / 4 から 5回 横浜カモシカにて開催
 - 11 / 8 金邦夫・小林千穂対談
 - 12 / 12 木元康晴 地図
 - 2 / 2 山本正嘉 運動生理学。
- 事務局からのお願い
 - 毎月の活動報告 締め切りは月末です。厳守お願いします。訂正も3日まで。

【2】各会からの報告（怪我とかトラブル報告）

		会員数	ヒヤリハット・事故	特記事項
1	川崎労山	26名	特になし	
2	川崎 HC	116名	なし	会の創立40周年記念山行が9月9～10日に行われた。
3	柴笛	30名	8月5日マスキ嵐沢にて下山中に滑落事故が発生。鎖骨骨折。	
5	横浜 HC	71名	転倒、滑落などによる事故までには至らないがヒヤリハットがあった。	
7	藤沢山の会	105名	7月前半に剣岳周辺で2件転倒、68歳と75歳の男性。注意喚起。8月	

			はなし。	
8	ナーゲル	25名	なし	7、8月は天候不順で中止が多かった。
9	相模 AC	33名	9/9 三国川ジトロ沢で大幅な下山遅れがあった。	8/26 全国連盟の講師によるセルフレスキュー講習会を行い 22名参加。非常に有意義であった。
10	みずなら	40名	なし	セルフレスキューと確保訓練を行った。
16	やま++	14名	7/8 鬼石沢 F10 で高巻きをしようとした会員が 1 名、約 15m 滑落。両腕に擦り傷を負った程度。気のゆるみ	
19	M&C	18名	なし	会員のダウラギリ山行は天候不順のため登頂できず残念だった。バカブーは山火事により閉鎖中。
20	Grazie	13名	8/19 稲子岩で会員が不整脈を発症。	

【3】その他/自由討論

●小田原ナーゲル山の会より：「毎年5月15日自主的にクリーンハイクを行ってきているが、それでも県連が決めた日程のクリーンハイクに参加しなければいけないのか？」との意見があった。

●配布資料：連盟ニュース9月号、第35期下期前半2017年度定期理事会議案書、事務局用会議レジメ、2017年度丹沢大山自然再生活動報告会案内パンフ、50周年記念講演資料「安全登山、エベレスト登頂や8000mの世界：講師 安村淳氏」

50周年記念事業実行委員会報告

9月25日 第13回実行委員会 19:00～ 県連盟事務所 出席者：加藤、糸山、小林

[報告と今後の進め方]

○9/10日の記念講演会報告

●記念誌

- ・表紙一写真
- ・目次一表紙の裏側
- ・会長あいさつ一渡辺
- ・中山氏寄稿
- ・活動報告 30周年まで一入木田 5ページぐらい
50周年まで一加藤、渡辺
- ・県連盟のあゆみ
- ・各部、局、委員会報告
事務局、組織部一入木田
教育部一山崎
遭難対策部一丸山
救助隊一早川
自然保護委員会一関根
ハイキング委員会一加藤

・各会の紹介一完了

○今後の実行委員会日程

第14回 10月16日(月) 19:00～

第15回 11月13日(月) 19:00～

○9月～11月 編集、印刷、製本

- ・製本の見積り一吉成さんに聞いている
- ・写真を提供ください。(連盟創立当時の写真、その後の総会、会議、活動などメールで実行委員、事務局まで)
- ・記念誌完成 2017年11月一少し遅れそう
10、2日の常任理事会で協力を求める。
原稿は10月16日の実行委員会まで遅くとも10月中には

50周年実行委員会・加藤

開催にあたって（入木田理事長）

●事務局

事務局長不在が長く続いており活動活性化のため人員補強ならびに組織強化の必要性がある。

●遭難対策部

今年、県連会員の穂高雪崩死亡事故が発生している。他人事として見過ごさず教訓を汲み取り今後活かす必要がある。

1. 事務局

●加盟団体調査票について（佐藤）

佐藤）今後、県連で集約しまとめてから、県連から全国に都度提出する。

入木田）目的は、県連として各所属会の体制（特に三役）を常に最新の状態に保つ必要があるためである。

三上）加盟団体調査票は個人情報を含むため、各所属会から県連への提出先は配慮が必要である。

入木田）Eメール提出先は”jimu001@”とすることで調整する。

●県連ホームページについて（入木田）

更新が適宜実施されていない。現行は一人に対応しており負担となっているため、サポート要員が必要である。

2. 遭難対策部（丸山）

早川）救助隊との協業について、今後どのように進めていったら良いか？

丸山）オープン参加形式で救助隊と共催することを検討したい。

入木田）遭対部がある会の担当者が集まって共通の課題について話し合う場を設けたい。

3. 救助隊（早川）

早川）実働隊員が4~5名しかいないので、実働人員の増員が必要。

清藤）案内が遅かったなので、年間計画などで早めに告知してもらえれば予定を組み易い

早川）メールなどで案内は出していたが十分ではなかったようなので改善を図りたい

三浦）ハイク系の会員も参加し易い講習会には積極的に参加したいので、年間計画等により事前の案内があれば計画を立て易い。

清藤）レベルが高く参加し難い状況であったが、渡渉はハイクであっても必要な場合があるので非常に

役に立つ講習であった。

入木田）渡渉で流されると死亡する確率が高いのか？

若澤）ザックの大きさ、水量や流され方の影響があるので何とも言えない。

早川）渡渉講習会は思っていたより好評のようなので、また企画することも考えたい。また、ハイク系とアルパイン系の講習会を一年毎に計画し効果的なメニューを作成したい。

3. 教育部（入木田／代理）

清藤）一般参加者3名の詳細は？

入木田）神奈川県連以外の都連などの会員の初級者

神谷）受講者数について人数が合わない？

入木田）確認して修正する

4. ハイキング委員会（加藤）

入木田）講師より実力のある方が参加していると、実力者に頼ってしまう傾向が出ていることに心配している。

5. 自然保護委員会（渡辺）

渡辺）植樹について、主催が神奈川県でなく丹沢自然保護協会が正しいので修正する

伊藤）水質調査結果は、どこに報告しているのか

渡辺）県に報告している。県Home Pageで公開している

伊藤）何年も検査しているので有効活用は出来ないのか？

若澤）小屋管理水場で陽性反応が出た場合は？

渡辺）大倉高原山の家の水場で陽性反応が出たことがある。噂になって知っている人も多いと思う。同じ水源を使用している見晴茶屋では生水は飲用で使用していない。営業山小屋は保健所の管轄となるので、陽性反応が出れば厳しく指導される。

伊藤）水質調査ポイントの半数以上で糞尿が原因で不適となっている。

渡辺）水質調査は参考程度の位置付で実施している。

●実施時点の天候状態や動物の糞尿でも陽性反応が出る場合がある

●水場と紹介されている水場で陽性反応が出れば管理者に報告している。報告後、清掃作業をされたケースもある。但し、水場は保健所の管轄外なので自己責任で使用する必要がある。

入木田）今は沢登りでもボトルウォーターを持参し

沢水を飲まない人が多く見受けられる。

早川) 自分も沢水は飲まないようにしている

6. 50周年記念事業実行委員会 (加藤)

若澤) 植樹の予定があったのでは？

加藤) 予定をし、関連団体との話し合いの場を持ったが、時間的制約等により実現することが出来なかった。

渡辺) 自然保護協会が検討している大山辺りの植樹について、その一区画を県連に委託しても良いとの話が出ている。

加藤) 50周年記念事業として取り組むには、実行委員3名では負担が大きいので自然保護委員会の丹沢クリーンハイクの取組の一つとして実行するので良いと思う。(渡辺会長が検討を進める)

若澤) 植樹に適している時期は？

渡辺) 3月頃で春の新芽が出る前が望ましい。植樹は難しくなく、一定間隔で植樹する必要もない。バラバラに植樹しても自然淘汰され強いものが生き残

って成長する。

清藤) 植樹をすることの意味の理解を深めるために、植樹の際に県や自然保護協会の担当者の方に話を聞くのは有意義でためになる。

7. 敬弔金支出内部規定について

早川) 不慮の病気の定義は急病(突然死)を想定している？

若澤) 対象の死亡の定義は？

早川) 原因に関わらず死亡時は敬弔金を出すのか？

清藤) 原因に関わらず死亡時に出すのは疑問がある。山行中に限るなどの明確な定義が必要なのでは。

三浦) 県連に貢献のあった(会長や理事長など要職に就いた)人には山行中以外の死亡でも敬弔金を出すのか？

渡辺) 山行中の死亡に限ったほうが良いのではないか？

※引き続き常任理事会の中で検討事項として協議を継続する。 以上

9月自然保護委員会報告

9月25日(月)

出席者 関根(みずなら) 渡辺(相模アルパイン) 高橋、萩原(藤沢山の会) 北野(緑星)
川崎(川崎ハイク) 磯部(地平線) 伊藤(横浜ハイク)

クリーンハイク報告集(やま++佐々木さんが編集)に「自然保護委員会のあゆみ」「小林朋子さんの水質調査に関する文章」を入れる。

今後の行事について

8月報告分に下記を追加する

○東日本大震災・石巻復興ボランティア

11月11日(土)～12日(日)

現地での植林行事に参加する。

○2017年度丹沢大山自然再生委員会・活動報告会

10月15日(日)

○植樹に参加 主催・丹沢自然保護協会

2018年3月

自然観察会(2018年春に実施予定)の下見を行う。「秩父巡礼古道」の自然観察。講師を秩父アルペンクラブの飯塚明氏にお願いする。

下見日程: 11月16日(木) 西武秩父駅に9時頃集合

参加者: 飯島氏、関根、高橋、川崎、伊藤

■第1部 浦添全国連盟理事長「労山の歴史・運動の過程・今後の展望」

後援会冒頭、入木田理事長の司会で渡辺会長の挨拶があり、神奈川県連盟が1967年に川崎労山・横浜労山・湘南労山の3会によって創られ、その後の50年間の活動は間違いなく正しい運動であったことに触れ、「現在、労山は、山岳会ではなくてはならない位置にある」と力説しました。

続いて神奈川県スポーツ連盟の藤本理事長が挨拶。誰もが参加できるスポーツを目指して活動しているなかで、スポーツ連盟の設立に労山が大きな力を発揮したことに感謝が述べられました。今後さらに前進するため、「ハイキング志向者を伸ばしていく」「スポーツクライミングを発展させる」「トレイルランに注視していく」の3つの活動の提案がありました。スポーツとしての登山を、幅広く活動していくことの重要性を感じました。

全国連盟の理事長、浦添さん（写真）より神奈川県連盟の50周年のお祝いと、全国連盟への大きな役割に感謝があり、テーマの記念講演についてお話がありました。当時の無理な勤務時間のなか、勤労者のための趣意書の作成と設立をNHKなどのマスコミに発表することによって全国の会社に山岳会ができ、1963年7月に日本勤労者山岳連盟が結成されたこと。その後、労山運動の羅針盤ともなる趣意書をさらに発展させ、保険業法改悪への反対、平和と登山の問題（平和なくして登山なし）、権利としての登山（豊かな生活）、海外登山の発展、山岳自然を守る活動など、本当に勤労者の立場に立った運動を進めてきたと思うと話されました。

今後の活動では、福島放射能汚染による山での測定値の計測活動や、南アルプス道路の自然破壊に対する活動、会員拡大や労山のための登山時報の普及と必要性について考え深い話もありました。（佐藤 修）



■第2部 安村淳氏「安全登山 エベレスト登頂や8000mの世界」

第2部は日本山岳ガイド協会の安村淳氏による「安全登山 エベレスト登頂や8000mの世界」についての講演。安村氏は自身のエベレスト登山や多岐にわたる高所登山の経験から、高所登山における消費エネルギーが莫大なこと、エネルギーを如何に補給するかが登山の成功の鍵の一つであったことを話しました。そして、日本の山での消費エネルギーを計算する方法として、鹿屋体育大学山本正嘉教授の提唱する「コース定数」で簡単に計算することができ、この方法は山と渓谷社の分県登山ガイド2016年度版以降に取り入れられているということです。たとえば、丹沢塔ノ岳・表尾根から大倉尾根下山はコース定数30。体重50kgの人が日帰り荷物5kgで登ると、コース定数30×

$(50\text{kg} + 5\text{kg} = 55\text{kg}) = 1650\text{Kcal}$ （おにぎり9.2個）ものエネルギーを消費していることとなります。でも普通の登山では、朝食も含めておにぎり4個分くらいしか食べていません。また、登山などのエネルギーとして最も適したものは炭水化物であること。炭水化物がなければ体内の脂肪を燃やすことができないことも教えてもらいました。体内のエネルギー（炭水化物）が枯渇するといわゆる「シャリバテ」になり様々なリスクが起きます。①筋肉が動かなくなる②脳や神経の働きが低下する③低体温症になりやすくなる④筋や内臓が分解される⑤腎臓におおきな負担がかかる、など想像以上に体には強い負担がかかります。

高所登山でも日本の山でも、登山は想像以上にきつい運動で、想像以上に多くのエネルギーを必要としています。エネルギーが不足すると、筋肉が動かなくなり、脳や神経の働きが低下して、転倒・転落・滑落・疲労・道迷い、低体温症など、多くの遭難の誘因になります。「エネルギー不足は遭難のもと」であり、「安全登山にはエネルギー補給がポイント」であるということを講演から学ばせていただき、心底から納得。今後の登山に役立たいと思いました。また、残念ながらこの講演を聞きのがしてしまった多くの登山者にもぜひ知ってもらいたいと思います。

（相模アルパインクラブ 若澤伸子）



4月の入校式からほぼ半年あまりたちました。広沢寺から始まり湯河原幕岩、西丹沢読図、甲武信岳カモの沢遡行と今回が無雪期としては最後の実技講座になります。

金曜日大雨で土曜は午前中小雨。そのせいで登山者が少なく岩場は使い放題。メインの一般ルート中央、同右、同左、リーダーピッチなど普段はゲキ混みな所が自由に使えました。

4月の入校式の際は、クライミングをしたことのない人が大半でしたが半年の間に登り込んだ人とそうでないひとは、かなり差がついていましたね。

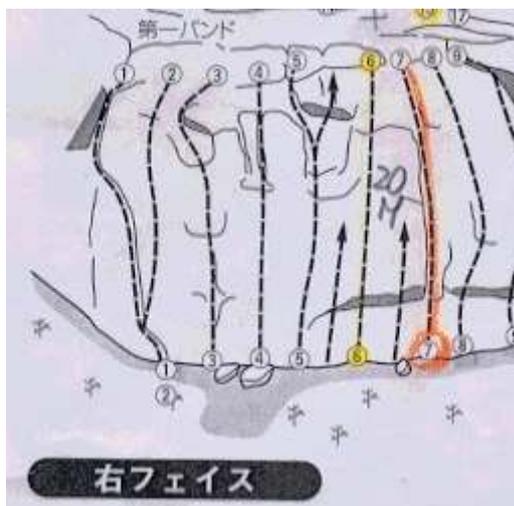
ただし経験の少ないメンバーは、この一月毎週ビッグロックでみっちり基礎を習って三つ峠に臨みました。実際にルートを登って天狗の踊り場にも行きました(写真)。アルパインとはなんなのか？短期の間に体験できたのは、今後なにをやるにしろ貴重な経験になると思います。

私の班は、半年で急成長した若手。2日のあいだに誰もがわかるほど成長しました。本ちゃんの岩場にもなれ登りが危なげなく登れるようになったことです。(三級を三級らしく、四級を四級らしく登ることが安全につながります。)

ただロープワークはスピードが大事なのでこれを今後の課題として経験をつむ中で成長して行って欲しいと思いました。

今回は小屋泊まり食事つきでしたので、早い班は朝5時半から行動開始。

夜は、クライミングウォールがあるので8時まで講義と、かなり濃い講座内容でした。テントだとバラバラですがひとつ屋根の下で食事し団欒する機会をもてたのはとても良かったと思います。(入木田)



- ③一般ルート左 IV+
- ④一般ルート中央 IV+
- ⑤一般ルート右 III+
- ⑦リーダピッチ IV+



2017年度セルフレスキュー講習会ご案内

2017/9/21 神奈川県勤労者山岳連盟 救助隊

神奈川県勤労者山岳連盟各位

2017年度のセルフレスキュー講習会を下記の要領で実施します。今回は岩場でのセルフレスキューを想定しています。体験ではなく、できる限り覚えて頂けるよう、練習できる時間を取るために内容は絞っております。対象となられる会員は奮ってご参加頂けるようお願いいたします。

- 目的：実際の遭難及び危急時を想定した岩場でのセルフレスキュー訓練
- 日時：2017年11月19日(日) 午前8時30分集合
- 場所：湘南鷹取山 (京浜急行追浜駅より徒歩30分)
- 募集対象：神奈川県登山会員およびリーダー学校受講生
- 参加資格：岩場のゲレンデで数回のトレーニングを経験していること
- 募集人数：40名
- 参加費：¥2,000
- 講習内容：
 - ① 懸垂下降のバックアップの取り方。
 - ② 介助懸垂。
 - ③ 懸垂下降の仮固定 (ビレイデバイスの仮固定)。
 - ④ フリクションノットによる登り返し。(デバイスの使用も可)
- タイムスケジュール
 - 08:30 鷹取山 トイレ広場 東屋集合 受付
 - 09:00～9:30 班分け・担当講師の確認
 - 09:30～ トレーニング開始
 - 15:00 講習終了
- 装備
 - ヘルメット、ハーネス、カラビナ、スリング、クイックドロワー、ビレイデバイスなど普段利用しているクライミングギア一式
 - 飲み物、昼ごはん
- 募集締め切り 11月10日(金)
 - 参加希望者は下記まで E-MAIL にてお申込みください。
申し込みはできるだけ各会にてまとめて下さい。
申し込み連絡先 救助隊隊長 早川 r7gsxn-x@pd6.so-net.ne.jp
 - 前日午後6時時点での降水確率が60%以上の場合は中止とします。中止連絡は救助隊メーリングリスト、各会の参加者代表者へ E-MAIL にて。

所属会：			所属会代表者氏名及び緊急時連絡先：				
氏名	生年月日	性別	住所	本人連絡先(電話番号)	E-MAILアドレス	参加者緊急時連絡先	山岳保険・基金口数

9/16

1. ハイキングクラブの現状と会員拡大の取組み (石川委員長) 13:30～13:45

受付終了後に、石川副理事長より開校の挨拶があり、引き続き「ハイキングクラブの現状と会員拡大の取組み」について、説明がありました。

2. 安全確保の知識と技術 (簡単なロープワークも)

13:45～20:00

講師：ハイキング委員会

最初に、田上理事によるプロジェクターを使った映写講習があり、安全確保に関する基本的な説明と近年に起きた山岳事故についての解説がありました。山岳事故の解説については、単なる説明に終わらず、自らの実体験を交えた解説であったので、特に参考になりました。

その後、ホテルの外に出て、けが人の救出方法に関する実務講習を行いました。私自身が参加した山行でけが人が出て救助へりを要請した経験があったので、あの時にこの方法は有効であったかなどとシミュレーションしながら、受講しました。

次に、川のある場所へ移動し、板で水流を垂直に受け止めた場合と、やや斜めに受けた場合とで、いかに水流の重圧が違ってくるかという実験をしました。渡渉の技術についての理論かと思われまふ。身をもって水の怖さを実感いたしました。ロープワークについては、見ているだけでは、ちょっと難しいと思ひました。

夕食のあと、伊藤理事によるテーピングの講習を受けました。1回目を見たときは、とても覚えられないと思ひましたが、3回見たらできそうな気になりました。



9/17

3. 地図の見方と活用法 8:30～12:00

講師：宮内佐季子 (登山時報「地図読み迷人」著者)

宮内講師の講義は、全般的に理解しやすい説明でした。地形図と登山地図のメリット・デメリットは特に勉強になりました。また、どの縮尺の地図でも、1kmは一この長さとして記しておけば、それを拡大しても1kmの幅が分かるというのが参考になりました。



4. パワーポイントによって作成する教材を映写しながらその活用法を講習する 13:00~16:00

「目で見えるハイキングABC」(歩き方編、装備編)

「目で見えるリーダーのあり方」

この講義については、初級登山学校で何度もおさらいしている内容で、復習という感じでした。ただ、パワーポイントを生かしたDVDを各クラブに持ち帰り、うまく活かせれば、大きな収穫があると期待されているようです。

9/18

5. 閉校式 7:45~8:00

台風のために大源太山や飯士山に登れませんでした。全国のクラブの方々と知り合いになれて、実のある研修になったと考えております。この研修に参加させていただき、感謝申し上げます。

全国ハイキング学校に参加して

9月16日から18日、越後湯沢での講習に参加してきました。台風が九州沖に迫っていることもあって、2日目に計画されていた山行が中止になったことは大変残念なことでしたが、その分すべての講習を受けることができました。

16日13:30 栃木から島根までの会員25名が集いハイキング学校が始まりました。委員長の石川氏からハイキングクラブの現状などの説明があり、そのあと地図読みのグループと安全確保のグループに分かれて講習が始まりました。私は地図読みグループで、講師は登山時報「地図読み迷人」の著者宮内佐季子さん。マウンテンバイクオリエンテーリングで瞬時に地図を読んでレースをしているだけあって、現場でどう判断するかの実例を交えて状況が想像できるような講義でした。またゲームを取り入れたチーム戦もあり、大いに楽しく盛り上がりました。

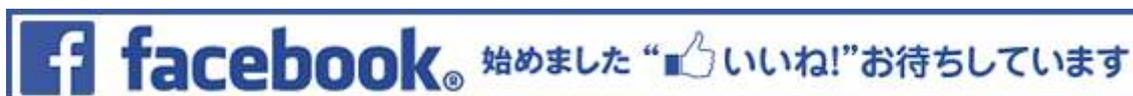
17日は午前中が安全確保の知識と技術とい

報告者：みずなら山の会 寺尾久美

うことで、講師はハイキング委員会の田上氏。レスキューの種類や警察・消防の違い、事故事例をもとに原因とどうすれば防げたのかを詳しく説明してもらいました。午後の講習のあと事故者の搬送方法の実技もありましたが、私が知っているよりさらにやりやすくなっている方法もあり勉強になりました。午後はパワーポイントによる「目で見えるハイキングABC」の講習で、講師は石川氏。テキストだけよりパワーポイントで画面が変わっていく方が分かりやすいように思いました。夜は夕食時からそのまま懇親会となり、大いに飲み語り合いました。

18日はお天気が良くなり登山する人がいるとのことで、早めに修了証を頂いて9時頃には解散でした。今回の講習会への参加で、貴重な知識を得ることができたと同時に他会の人たちとも交流が広がり大変有意義な時間を過ごすことができ、ありがとうございました。

労山本部が facebook 始めました。「いいね！」しましょう。



新スポーツ神奈川県連盟 第49期第3回常任理事会報告 県労山 伊藤 健司

日時：9月28日(木) PM7:00~8:30

場所：東神奈川・神奈川県連盟会議室

出席者：藤本理事長、佐藤副理事長、吉成事務局長、常任理事 計6名

内容：

・この間の活動について

神奈川スポーツ祭典(水泳、陸上、バレーボール、バドミントン、テニス)、ランニングセンター総会、月例マラソン、ウォーキング等の報告がありました。

県労山からは、9月10日の県労山50周年記念講演会、参加者が当初の計画・予定よりは少なかったが、新スポから藤本理事長、佐藤副理事長の参加も頂き、全国労山浦添理事長の「労山の歴史、運動の過程、今後の展望」、山岳ガイド安村さんの「安全登山、エベレスト登頂や8000mの世界」との有意義な講演があり、また引き続いて行われた交流会も楽しく実施ができた、との報告をしました。

・秋から年末年始に向けての活動について

スキー協から、年末・年始にかけて毎年行なわれている神奈川スキー祭典のバスツアー行事に関して、旅行業法に照らして問題があるのではないか(違反すると、30万円以下の罰金)、との話・認識があり、今年からは旅行社(提携をしているバス会社)・スポーツ連盟の共催の形で一般募集をすることとした、との報告がありました。

＜各連盟・協議会内の会員のみでのバス等を利用した旅行行事は問題ない、と思いますが、会員だけ

ではなく広く一般募集・宣伝(HP含めて)をする行事は旅行業法を考慮する必要があり、労山内での情報の共有・理解が必要だ、と思います。＞

・次世代への継承、「前進への転換」へチャレンジ!

県スポーツ連盟としては、11月17日(金)「スポーツのひろば」の読者会を計画している。

＜労山としては、「安く!楽しく!安全に!」という労山の設立の精神をしっかりと踏まえて、800万人といわれる登山人口に対して、広く会員普及の活動に取り組む意義と役割を感じました。＞

・11月2日(木) PM6:30~ 川崎市連盟45周年・月例川崎マラソン500回記念行事 サン

ピア川崎 (以上)

プロが教える安全登山講座 1回目机上講座開催されました。(10/4 カモシカスポーツ横浜店)

第1回は、岩崎元郎さん。ひと目会うなり”おう元気ですか”と気さくに声をかけていただきました。

”やあ岩崎さんを見ると僕もあと5年は大丈夫かな~と思いますよ”と返す。

1995年にNHK教育TVで中高年のための登山学でブレイクしたころは、年間300日も山に行っていたそうです。1945年生まれの岩崎さん、最近高血圧になったりと万全の体調ではないですが、人間70年も生きていたらガタが来るのはあたりまえ。それより山に行って無我無尊の境地を味わうことが健康に良くて社会の活力が増すので、一億総活躍社会よりはるかによい、一億総登山者計画を。とまだまだ意気盛んでした。

ネットで情報を得るのが当たり前の時代ですが、やはり生で実際のことを聞きたいという参加者が多くて立ち見が出るほど盛況でした。次回は11/8(水) 金邦夫氏と小林千穂さんの対談です。



GOALP

詳細は、GOALP で →

【連絡・報告】

全国関係

* 32期第19回理事会議案の結果

1. ROUSANパートナーズ閉鎖後の受け皿について再提案…受け皿団体を作り、運営には全国理事が協力する。
 2. 埼玉県防災ヘリ有料化問題について…年内に多くの地方連盟、関係団体から、埼玉県知事に要望書を提出してもらう。
 3. 第16回全国登山研究集会…「組織拡大のためのリーダー育成」の目的を堅持しつつ、新たな若い世代も参加できる内容にしていく。
他、全国事故一報・リニア問題・来年度全国連盟役員推薦について
- * 9/16~18全国ハイキング学校/湯沢…神奈川県連から4名参加、報告と感想は連盟ニュース参照。
- * 12/2(土)、3(日)第8回女性と登山全国集会開催…申し込みは全国女性委員会まで。

県連関係

- * 9/10定期理事会懸案について
遭難対策部活動について
各会の遭対部担当者による情報交換の場を設ける案が出たが、会の温度差があるので検討とする。
- 西丹沢/マスキ嵐沢の事故が多い…原因は下山中の道迷いで滑落事故が目立つ、踏み跡が多数あり。
 - 事務局長会議でヒヤリハットの報告があるが情報のみに留まっている。有効活用として報告をもとに丹沢山系のどの地点に発生しているかを見える化してみる。
 - ヒヤリハットの統計をとり随時更新し、連盟内で共有する。
 - ヒヤリハット体験のエピソード、未然に防いだ体験談や理由などHP内に書き込めるシステムを作ってみる。※ヤマケイオンラインからヒントを得る。
 - 自分の体力レベルを知る。体力グレードの見直し。会によっては年齢によってボッカの重量をかえてトレーニングしている。

敬弔金内部規定について

第2条 (敬弔金が支出される場合)

1. 連盟員の山行中の不慮の事故、または不慮の病気による死亡であって労山特別基金の支給要件に準ずる範囲とする。
 2. 満1年未満在籍する会員。…削除とする。
 3. この内部規定で判断つかない時は、常任理事会の協議による。
以上修正、削除した。
- * 定期理事会出席について…3、9月第2日曜日に

開催。専門部に所属している理事の出席率が低迷、過半数ぎりぎりの状態が続いています。各部に於いて理事の出席をお願いしたい。自然保護、教育部、救助隊。

* 相模アルパイン読図公開講座のお知らせ…詳細は連盟ニュース参照

事務局

- * 理事ML、事務局MLについて…削除、追加、訂正は随時行っているが、使われていないアドレスなど整理する作業を行う。
- * 2018年労山カレンダー1部1,000円の受付をしています。申し込みは事務局にて行っています。

50周年記念事業 9/25実行委員会

- 9/10(日)労働プラザにて浦添理事長、山岳スポーツ指導協会安村淳氏の記念講演会を開催した。出席は30名と少なく、周知が行き届いていなかったのか…。報告は連盟ニュース参照。
- 各会の紹介全会揃う。記念誌の編集作業にはいる。印刷の見積もりは吉成さんに依頼。発行は11月予定しているが原稿が集まらず少し遅れそう。

【専門部】

- * 自然保護委員会…2017丹沢クリーンハイク報告集は10月中に完成、11月事務局長会議に間に合わせる。理事MLでも配信。
10/15、16「関東ブロック自然保護交流集会」主管:都連 場所:奥多摩 県連から3名参加。
10/28、29「全国自然保護担当者会議」場所:日光温泉 県連から3名参加
- * 救助隊…11/19(日)アルパインセルフレスキュー講習会を鷹取山にて実施。各会から申し込みあり。
- * 遭対部…ヒヤリハットについて話し合う。
- * 教育部…9/23、24三ツ峠にて班毎に分かれて実習行う。室内壁のある宿泊施設で20時頃まで行う。
- * ハイキング委員会…9/30、10/1行者小屋にてテント泊、小屋泊、自炊体験行う。2日目赤岳登頂。
ヒヤリハット:初日、南沢から行者小屋に向かう巻道登山道で、下りてきた登山者が路肩によけた際、大小7、8個の落石を起こした。最後尾を歩いていた受講生は避けたので直撃は免れた。

【他】

- * 10/4 山岳スポーツ指導協会第3回「プロが教える安全登山講座」講師:岩崎元郎氏。現在50名の申し込みがある。

*新日本スポーツ神奈川連盟第3回常任理事会報告
 …県連50周年記念講演会、神奈川スキー祭典の
 行事に一般募集する内容についての詳細は連盟ニ
 ュース参照。

次回11月6日(月)19:00~県連事務所
 事務局長会議11月14日(火)

19:00~県連事務所

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告 9月

活動報告送り先: jim001rouzan.kanagawa@k-rouzan.net

人数		形態	H:ハイキング、A-一般登山、S雪山	人数		形態	SKI山スキー、R岩、氷アイスクライミング	人数		形態	
川崎勤労者山岳会 機関誌:「あざみ」 http://sangakukai.wix.com/kawasakirouzan 報告:山崎弘樹 計29名(男17 女12) 平均年齢51.0歳											
7/31-8/1	富士山	1	A	8/26-27	八ヶ岳 阿弥陀岳-赤岳	1	A	9/15-16	富士山	1+他	A
8/5-6	吾妻連峰 浄土平~西吾妻山	7	A	8/27	埼玉 柴崎ロック	1+他	R	9/16-18(中止)	北ア 駒岳(長次郎谷)	1	A
8/6	伊豆 城山	3	R	8/28-31	北ア 赤木沢(黒部源流)	2	沢	9/16-19(中止)	北ア 駒岳(北方稜線)	1+3	A
8/11-12	湘南 鷹取岩	3	R	8/30	秋田 秋田駒ヶ岳	1+1	A	9/17(中止)	丹沢 石老山	2	H
8/11-13	北ア 立山三山-駒岳	2	A	9/1-9/3(中止)	北ア 西穂高岳~奥穂高岳	1+2	A	9/17-18	北海道 大雪山 旭岳	1+2	A
8/12-14	越後山地 八海山(中ノ岳・荒沢岳)	1+1	A	9/2-3	南ア アサコ峰~鳳凰三山	1+2	A	9/22-24	北ア 黒部~池の平~樺平	3	A
8/13	湯河原 幕岩	3	R	9/2-3(中止)	北ア 唐松岳	11	A	9/23-24	谷川連峰 谷川岳	1+2	A
8/13	那須 茶臼岳-朝日岳-三本槍岳	1+1	A	9/3	高尾 高尾山-小仏城山	3	H	9/23	長野川上村 廻り目平	1+他	R
8/16-19	北ア 前穂-奥穂-涸沢岳-北穂	1+1	A	9/9	福島 ニッポン山	2	A	9/24	群馬我妻郡 岩櫃山	1	A
8/17(中止)	福島 安達太良山	1	A	9/9	丹沢 塔ノ岳~三ノ塔	1	A	9/24	大菩薩嶺 蛭子山~雁ヶ原摺山	1+1	H
8/19-21	北ア 前穂高(北尾根)	2+1	R	9/9	高尾 高尾山-小仏城山	1+2	H	9/27	那須 茶臼岳-朝日岳	1+2	A
8/19	高尾 城山-高尾山	3	H	9/9	湯河原 幕岩	4	R	9/30-10/1	南ア 甲斐駒ヶ岳-仙丈ヶ岳	4	A
8/26	八ヶ岳 網笠山	4	A	9/10	伊豆 城山	4	R	9/30-10/1	朝日連峰 大朝日岳	1+2	A
川崎ハイキングクラブ 機関紙「りんどう」 http://kawasaki-hc.life.coocan.jp/ 報告:原重徳 計116名(男60 女56) 平均年齢65歳											
8/18-19	仙丈ヶ岳(南アルプス)	6	A	8/23	金峰山	4	A	8/27	酒匂川(河原訓練)	3	H
8/19-20	五竜岳(北アルプス)	5	A	8/24-27	鹿島槍ヶ岳/五竜岳	3	A	9/3	弘法山(例会山行)	16	H
8/18-21	針ノ木岳/蓮華岳	3	A	8/25-28	塩見岳/間ノ岳	5	A	9/3-6	八甲田山/岩木山	7	A
8/19-20	シダゴ山	13	A	8/26-27	霞沢岳	3	A	9/4-6	立山	5	A
8/22-23	富士山	3	A	8/26-27	棒ノ折山(かもしか山行)	9	A	9/8-10	北八ヶ岳(40周年記念山行)	40	A
川崎柴笛クラブ 機関誌:「柴笛レポート」 http://shibabueclub.blogspot.jp/ 報告:井上 瑞代 計30名(男18 女13) 平均年齢50歳											
2017/9/2-3	小川山	2+2	R	2017/9/10	入笠山	1+1	H	2017/9/19-20	蓮華岳、針ノ木岳	1+1	A
2017/9/3-4	金峰山	1+1	H	2017/9/11-13	荒川三山・塩見岳・蝙蝠岳	1	A	2017/9/19-20	白馬岳・杓子岳・鎌ヶ岳・唐松岳	1	A
2017/9/3	新川崎左俣	3	R	2017/9/11-13	荒川三山・赤石岳・兎岳・聖岳	1	A	2017/9/23-25	奥穂高岳南稜	2	R
2017/9/3	大倉尾根・表尾根	2	A	2017/9/15-18	源次郎尾根	中止	R	2017/9/23-24	桜枝岐下ノ沢	1+2	R
2017/9/8	大蔵高丸・ハマイバ丸	1+1	H	2017/9/14-16	黒戸尾根	1	R	2017/9/23	一ノ倉沢	中止	R
2017/9/8-9	駒岳 早月尾根	1+1	A	2017/9/15-18	荒川岳~赤石岳	中止	A	2017/9/23-24	会津朝日岳、守門岳	1	A
2017/9/9	逆川	2	R	2017/9/16	前川大滝沢	4	R	2017/9/23-24	三ツ峠	講習	R
2017/9/9	倉戸山	5	H	2017/9/16	明神ヶ岳・明星ヶ岳	中止	H	2017/9/23-24	塩見岳	1+1	A
2017/9/10	大倉尾根・表尾根	2	A	2017/9/16	黒川鶏冠山	8	H	2017/9/24	武尊山	4	A
2017/9/10	モロクボ沢~水晶沢右俣	3	R	2017/9/16-18	前穂高岳北尾根	中止	R	2017/9/24-26	白馬三山	1+1	A
2017/9/10	シダゴ山	1+2	H	2017/9/16	湯河原幕岩	中止	R	2017/9/30-10/1	倉戸山、鷹巣山	3+1	H
2017/9/10	つづら岩	中止	R	2017/9/16-18	燧ヶ岳と至仏山	中止	H	2017/9/30-10/2	針ノ木岳~岩小屋沢岳	1	A
2017/9/10	大山	2+1	A	2017/9/18	大蔵高丸・ハマイバ丸	1+2	H	2017/9/30	大倉 ⇄ 塔ノ岳	1	A
アルパインクラブ横浜 報告:岸 直哉											
9/3	小川山(ボルダー)	1	R	9/10	御岳(ボルダー)	1	R	9/23	瑞牆山(ボルダー)	2	R
9/3	小川山(ボルダー)	1	R	9/11-12	鳳凰三山	1	A	9/23-24	秋田駒ヶ岳	1	A
9/8-9	燕岳・常念岳	1	A	9/18	塔の岳	1	A	9/23-24	京都一周トレイル	1	A
9/9-10	笛吹川水系東沢 釜ノ沢東俣	2	A	9/18	湯河原(ボルダー)	1	R	9/24	谷川岳・一ノ倉沢衝立岩中央稜	2	R
9/9-10	瑞牆山(ボルダー)	1	R	9/18-20	後立山(鹿島槍ヶ岳~唐松岳)	1	A	9/25	瑞牆力サメリ沢	2	A
9/10	甲府幕岩	4	R	9/22-29	瑞牆山(ボルダー・ルート・登山)	2	R	9/30	三ツ峠	6	R
9/10	丹沢山	1	A	9/23	唐松岳	2	A				

藤沢山の会 機関誌:「稜線」 http://fujisawa-yamanokai.com 報告:山本博生 計102名(男46 女56) 平均年齢66歳										
9/1~3清里~夏沢鉱泉~車山	3	H	9/11兜岩山	6	A	9/22日蔭指尾根~十二天尾根	6	A		
9/1~3清里の森・硫黄岳	3	A	9/11鍋割山	4	A	9/23水無川セドノ沢右俣	1+	沢		
9/2~3天狗岳・峰ノ松目	2	A	9/13~14湯坂道・仙石原	5	H	9/23~24大倉尾根	1	H		
9/2~3夏沢峠・車山	3	H	9/14~16天狗池	6	A	9/24牛ノ寝通り	2+	A		
9/2~3権現岳~赤岳	6	A	9/16富士山お中道	8+	A	9/24硫黄岳	2	A		
9/2~4硫黄岳~赤岳~権現岳	5	A	9/19檜原城址~綾滝	5	A	9/24~27劔岳ハツ峰上半	1+	A		
9/2~5立山	2	A	9/19奥多摩巨樹めぐり(自然保	14	H	9/26藤沢川~沼ノ沢峰~鞍吾	6	A		
9/3御岳山	2	A	9/19有明山	1+	A	9/27鎌倉市竹林整備(自然保	12	H		
9/7朝比奈切通し	8	H	9/19カイスク新道~新大日	4	A	9/29~10/1劔岳北方稜線	4	A		
9/9川苔山(会ハイク)	14	A	9/21鍋割山	4	A	9/30雨飾山	1+	A		
9/9畦ヶ丸	12	A	9/21青木ヶ原樹海	9	H	9/30~10/1菰釣山~大界木山	9+	A		
9/9~1只見川恋ノ岐川	1+	沢	9/21大楠山・畠山	2	H	9/30~10/1赤岳(県連初級登山	4+	A		

相模アルパインクラブ 機関紙「こだま」 http://sagamiac.sakura.ne.jp/ 報告:川上昌宏 計35名(男25:女10) 平均53.7歳										
8/27マスキ嵐沢	1	沢	9/5古賀志の岩場	1	R	9/20畦が丸	1	A		
8/27酒匂川渡渉訓練	1	沢	9/9丹沢主脈縦走	1	A	9/21鹿沼の岩場	1	R		
8/27沖ピリ沢・水の木沢	1	沢	9/9西沢本棚沢	1	沢	9/21錫杖・注文の多い料理店	1	R		
8/30滝子山	1	A	9/9~10下ノ廊下	1	A	9/23~24三つ峠	1	R		
8/31丹沢山	1	A	9/9~10小川山	1	R	9/23~24 きのこ山行	1	A		
9/3小川山	1	R	9/10兜岩	1	R	9/24湯河原幕岩	1	R		
9/3檜洞丸	1	A	9/10三つ峠	1	R	9/26広沢寺	1	R		
9/3マスキ嵐沢	1	沢	9/16檜洞丸	1	A	メートル未踏峰他	1+6	A		
9/3広沢寺	1	R	9/17~18安達太良山	1	A	9/26~30フッカーバレー	1	A		
9/3小川山	1	R	9/18~19大室山・畦ヶ丸	1	A	9/25~30屋久島	1	A		
9/3マスキ嵐沢	1	沢	9/19三峰	1	A	9/30勤沢沢	1+1	沢		
9/4高尾北尾根	1	A	9/19~20小川山	1	R	9/30湯河原幕岩	1+2	R		
9/5ジャンダルム	1	A	9/20栗沢山・アサヨ峰	1	A					

みずなら山の会 機関誌:「みずなら」 http://www.mizunarayama.com 報告 阪上晃一 計41名(男22 女19) 平均年齢60歳										
9/2-3 滝谷ドーム中央稜	1+2	R	9/10 富士山	3+4	A	9/23-26 旭岳	1+2	A		
9/2 陣場山	1+3	A	9/10 天王岩	2	R	9/23-24 三つ峠[L学校]	2	R		
9/3 小川谷	4	沢	9/13 幕岩	1+1	R	9/24 鷹取	9	R		
9/3 勤七ノ沢	3	沢	9/14 城山	5+2	R	9/24 丹沢大杉山	1+5	A		
9/3 三国山	2	H	9/15-18 レスキュートレーニング	2+1	R	9/25 塔ノ岳(表尾根経由)	1+1	H		
9/3 富士山	2+1	A	9/15 鷹取	2	R	9/25 物見山・高指山・巾着田	2	H		
9/3 西丹沢(縦の木沢)	2+2	沢	9/16 鷹取	4	R	9/26-27 鶏頂山	3+1	H		
9/3-5 剣	1	A	9/17 磐梯山	1+2	H	9/27 鷹取	4	R		
9/4 鷹取	3	R	9/18 塔ノ岳	1	H	9/29-10/1 北岳バットレス	3	H		
9/5 六ツ石山	2	H	9/18 鷹取	2	R	9/30 箱根白銀山[読図講習]	4	H		
9/8-10 西穂高~奥穂高	3	A	9/20-22 裏八幡平	1	A	9/30 稲子岳南壁左カンテ	4	R		
9/9 水無川本谷	3+1	沢	9/20 鷹取	6	R	9/30-10/1 赤岳【初級登山学校】	+10	A		
9/9-10 飯縄山・高妻山	5	A	9/22-24 劔北方稜線	1	A	9/30-10/1 乾徳山	1+1	A		

山岳会 カモの会 報告:金見 智朗 計64名(男38 女26) 平均年齢37歳										
09/01 利尻山	1+3	A	09/09 越沢バットレス	2	R	09/16 燧ヶ岳	1+2	A		
09/01 三頭山	1	H	09/09 御岳ボルダー	1	R	09/16 湯河原・幕岩	4	R		
09/02 鷹ノ巣山	5	H	09/09 小川山・瑞牆	2	R	09/18 会津駒ヶ岳	1+1	A		
09/02 甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根~八丁尾根	2+1	A	09/09 鳳凰三山	1	A	09/19 陣馬山・景信山	1	H		
09/02 甲斐駒ヶ岳(黒戸→八丁尾根)	4	A	09/09 北岳バットレス	2	R	09/20 平ヶ岳 ワカゴイ沢	1+1	沢		
09/02 前穂北尾根	2	R	09/09 月山	1+1	A	09/22 湯河原・幕岩	2	R		
09/02 赤岳・硫黄岳	1+2	A	09/09 八ヶ岳	1	A	09/22 雨飾山	1+3	A		
09/02 瑞牆フリー	1+1	R	09/10 谷川	2	沢	09/23 劔岳	3	A		
09/02 八ヶ岳 小同心	2	R	09/10 十二ヶ岳・節刀ヶ岳・鬼ヶ岳	2	A	09/23 丹沢・葛葉川本谷	1+11	沢		
09/02 三つ峠	2	R	09/10 伊豆大島 三原山	2+1	H	09/23 三つ峠(リーダー学校)	6+16	R		
09/02 檜洞ユースン沢周遊	5	沢	09/10 両神山	1+1	A	09/23 前穂北尾根	2	R		
09/02 前穂高岳 屏風岩雲稜ルート	1+1	R	09/14 甲斐駒ヶ岳	1	A	09/23 甲府幕・太刀岡	1+1	R		
09/02 瑞牆	1	R	09/15 早出川本流	4	沢	09/23 小川山・瑞牆	4	R		
09/03 徳山 旗立岩中央岩稜	2	R	09/16 八幡平~岩手山	1	A	09/24 丹沢・モミソ沢	1+13	沢		
09/03 柴崎ロック	2	R	09/16 月山	2	A	09/24 丹沢 大山	1	H		
09/05 釜川右俣	1+1	沢	09/16 醍醐丸	1	H	09/25 湯河原・幕岩	2	R		
09/09 甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根~八丁尾根	1	A	09/16 瑞牆	2	R					
09/09 富士山	5	A	09/16 愛鷹 赤淵川ゴルジュ	2	沢					

Grazie http://ocha-time.xsrv.jp/								
報告:相川 時子 計13名(男7 女6) 平均年齢41歳								
9/2-9/3 前穂北尾根	1+1	R	9/3 権現岳、赤岳	1	A	9/9-9/10 三つ峠	4	R
9/9-9/10 燧ヶ岳	1+1	A	9/23-9/24 三つ峠	5+17	R	9/23-9/24 劔岳早月尾根	1+2	A
9/24 子持山獅子岩	2	R	9/24 小川山	1+3	R	9/24 金時山	1	A
9/30-10/1 荒川三山	1+1	A	9/30 小同心クラック	3	R	9/30 塔ノ岳	1+1	R

横浜ハイキングクラブ 機関誌「四季」 http://yokohamahiking.com/								
報告=宮原義明 計71名(男33:女38)平均65.2歳								
9/20 飯盛山	5		10/10 高尾山	5		10/23 日和田山	9	
9/30~10/1 赤岳/ハヶ岳	4		10/8~10 劔岳	4		10/23 茂来山/佐久	1	
9/1 櫛形山	1		10/9~11 常念・蝶が岳	1		10/24 日向薬師/大山	5	
10/2~3 焼岳	5		10/10~11 唐松岳~白馬・鍵ヶ岳	3		10/24 塔ノ岳	1	
10/3 塔ノ岳	1		10/9~13 薬師岳~雲の平	4		10/24 三浦アルプス	4	
10/3 北高尾	6		10/14 定例会	49		10/23~24青木鉱泉~雨ヶ岳・竜ヶ岳	4	
10/3 塔ノ岳	1		10/19 有明山	1		10/28 運営委員会	10	
10/5大楠山/三浦	3		10/21 鹿沼岩山	1		10/28~30 澗沢	8	
10/9 塔ノ岳	1		10/22 大山/丹沢	1		10/30 倉掛山	1	

小田原ナーゲル山の会 機関誌:「ナーゲル通信」 http://nagel.jp					
報告:八つ星由美代 会員数:24名(男15・女9)平均年齢50.7歳					
8月			9月		山行計画
08/10 南アルプス 鳥小屋尾根 光岳	3	A	9/04 西丹沢・畦ヶ丸	1	A
8/10 南アルプス・光岳	2	A	9/06 箱根	2	A
8/13 笛吹川 ヌク沢 左俣右沢	4	S	9/08 南ア 甲斐駒ヶ岳&仙丈ヶ岳	1	A
8/21 南アルプス 大井川源流 東俣	1	S	9/19 立山、劔岳	1	A
8/20 国内(その他) 白山	6	A	9/19 氷河公園大キレット北穂高岳	2	A
8/20 葛城山	1	A	9/24 矢倉岳	1	A
8/23 木曾駒ヶ岳・宝劔岳	2	A	9/24幕岩クライミング	2	R
8/26 幕岩クライミング	3	R			
9/01 上越魚野川 大源太山 北沢本谷	3	S			

やま++ http://yamaplpla.sakura.ne.jp								
報告:計13名(男10女3) 平均年齢56.6歳								
9/2~3 高尾山(ビバーク体験)	5	H	9/9~10 未丈岳・八海山	1+2	A	9/14~15 八海山	2	A
9/16 岩菅山(やま++祭)	8	H	9/23 武甲山	3	H	9/29 大山	2	H

公開読図講座のご案内

相模アルパインクラブ

相模アルパインクラブでは、一般登山者を対象に、地形図とコンパスを使用して読図の方法を理解していただくと共に、道迷いをしないためのヒントを併せて学習する講座を実施します。第一部「地図読みの必要性と方法(机上講習)」、②第二部「西丹沢周辺の山域を読図する」の二部構成となっています。各山岳会の会員の方は元より、ご家族や友人をお誘い合わせのうえ大勢のご参加をお待ちしています。

記

日時: 2017年11月19日(日) 午前8時35分~午後4時30分

場所: 西丹沢ビジターセンター(旧西丹沢自然教室)とその周辺山域

集合: 11月19日(日) 午前8時35分 西丹沢ビジターセンター

持ち物: シルバーコンパス、登山地図(地形図は主催者側で準備します)、筆記用具、弁当、ヘッドランプ(予備電池)、雨具、高度計または高度計付き腕時計、その他通常尾根歩き登山で必要な物

参加費: 無料

締め切り: 2017年11月15日(水)

申し込み・問合せ先: 次のいずれかの方法でお申し込みください。

相模アルパインクラブ・ホームページから(10月中旬を目処に案内を掲示予定)

メールで、阿部 (asamabe@gmail.com) までご連絡ください。

相模アルパインクラブ 担当 阿部 Te1. 042-746-0590

県連のスケジュール

日	曜	10月	日	曜	11月	日	曜	12月
1	日	初級登山学校	1	水	アルパ インリーダ-机上	1	金	
2	月	常任理事会	2	木		2	土	
3	火		3	金		3	日	
4	水	アルパ インリーダ-机上	4	土		4	月	常任理事会
5	木	救助隊運営会	5	日	初級登山学校実技 セルフレスキュー講習	5	火	
6	金		6	月	常任理事会	6	水	
7	土		7	火		7	木	
8	日		8	水		8	金	
9	月		9	木	救助隊運営会	9	土	アルパ インリーダ-実技
10	火		10	金	初級登山学校修了式	10	日	アルパ インリーダ-実技
11	水		11	土		11	月	50周年実行委員会 事務局部会
12	木		12	日		12	火	連盟ニュース12月号発行
13	金		13	月		13	水	
14	土	関東B自然保護交流会	14	火	事務局長会議	14	木	
15	日	関東B自然保護交流会	15	水		15	金	
16	月	事務局部会 50周年実行委員会	16	木	救助隊運営会	16	土	
17	火		17	金		17	日	自然保護委員会
18	水		18	土		18	月	
19	木	救助隊運営会 初級登山学校机上	19	日		19	火	
20	金		20	月		20		
21	土		21	火		21	木	救助隊運営会
22	日	初級登山学校実技	22	水		22	金	
23	月		23	木		23	土	
24	火		24	金		24	日	
25	水		25	土		25	月	自然保護委員会
26	木		26	日		26	火	
27	金		27	月	自然保護委員会	27	水	
28	土		28	火		28	木	
29	日		29	水	アルパ インリーダ-机上	29	金	
30	月	自然保護委員会	30	木		30	土	
31	火					31	日	

2017年の全国集会・会議予定

- 10/28～29 全国自然保護担当者会議(日光)
- 11/4-5 全国救助技術交流集会(川上村岩根山荘)
- 12/2-3 女性と登山全国集会